

豊かな河川環境の復元調査



北海道e-水プロジェクト

この印刷物は、北海道、北海道コカ・コーポロリング
㈱、(公財)北海道環境財団の三者による協働事業「北
海道e-水プロジェクト」の支援を受けて、実施します。

特定非営利活動法人 沙流川愛クラブ
令和2年度活動計画

ニホンウナギ生息調査

- ◆当会の会員は、昭和20年～30年代にかけて、沙流川河口域で**ニホンウナギ**を日常的に捕獲していました。
- ◆経済成長とともに生活の変化から、ニホンウナギの捕獲は行われなくなりましたが、**かつてと同様にニホンウナギが遡上しているかを、自らの手で確認したい**との思いが本調査の動機です。
- ◆特別採捕許可を得た**令和元年調査では生息が確認されず、二日間で調査を打ち切りました。**
- ◆以下の要領で、**令和2度は時期を変えて調査を継続します。**
 - ①5月～8月の水温が比較的高い時期に捕獲した事例が多い（令和元年調査時は水温が下がりすぎていた）。
 - ②上記期間以外でも捕獲実績はあるが、海流や海水温などの影響が大きく、沙流川への遡上有無の濃淡がハッキリしていることが考えられた。
 - ③よって、令和2年度は、5～8月の1回/月の計4回の定期調査を実施する。



北海道e-水プロジェクト

この印刷物は、北海道、北海道コカ・コーラボトリング
㈱、(公財)北海道環境財団の三者による協働事業「北
海道e-水プロジェクト」の支援を受けて、実施します。

コイの大量繁殖とその他魚類への影響調査

- ◆ 会員による河口域の魚類生体観察では、ここ数年で、コイ（60～80cm）の「異常」増殖が確認されています。
- ◆ 一方で、サケマス類の稚魚（ヤマメ等）が減少し、魚類の単調化を肌で感じています。
- ◆ 釣り上げたコイの内包物には、ウグイの幼魚に交じりヤマメ稚魚が確認されました。
- ◆ この現象が多くのコイについて確認されるなら、沙流川の特徴の一つであるシシャモの稚魚にもその影響が及んでいることの危惧が持たれました。
- ◆ シシャモについては地域の重要な資源（観光・産業）であることに鑑みると、近年の水揚げが減少傾向にあることや、河口域で単調化する魚類生息状況の中で、コイの大量繁殖が原因ではないか、を住民の手で調査したい、との動機による活動概要です。
- ◆ 特別採捕許可を得て、また調査・勉強会については専門家の招へいを考えています。



北海道e-水プロジェクト

本事業は、北海道、北海道コカ・コーラボトリング㈱、
（公財）北海道環境財団の三者による協働事業「北海道
e-水プロジェクト」の支援を受けて、実施します。

調査対象区域 沙流川河口域 (KP3.2～KP0方向)



北海道e-水プロジェクト

本事業は、北海道、北海道コカ・コーラボトリング㈱、
(公財)北海道環境財団の三者による協働事業「北海道
e-水プロジェクト」の支援を受けて、実施します。

太平洋

コイ・
ニホンウナギ
調査個所

ニホンウナギ
調査個所

沙流川

ニホンウナギ
調査個所

日高町富川 せせらぎ公園